

# 平成 29 年度 学び舎ひまわり番外編「大交流会」開催報告

日 時 平成30年 1月 31日(水) 14時~17時

会 場 港南区役所 6階 603号会議室

参加者 44名(1期~5期卒業生)

自己紹介・近況報告に続けて、「防災・減災」「見守り支えあい」「担い手の確保」のうち、参加者の皆さんの話し合いたいテーマに分かれ、意見交換をしました。



## 各グループの発表

### ◆ 見守り支えあいチーム



・災害時に備えて地域のマップを作るということは個人情報保護法の関係もあり、みなさんご苦労されている。情報を持っている民生委員に見守りをお願いしてしまうところも多いが、民生委員を支える仕組みをつくらなければいけないと思う。防犯パトロールの時に異変のあるお宅を気にするなど、合体させてやっていくといいのではないかという意見があった。



・新しく引っ越してきた方に加入の案内をきちんとやらないと、見守りもできない。どのように転入者を町内会に入れるかがポイント。色々な規制やルールがある中、やれる範囲の中で一生懸命やっていくしかない。

### ◆ 担い手の確保チーム①



・子ども会の保護者は、子どもが卒業すると地域の活動から抜けていくことがほとんどなので、その後の行き先としてサポーターを作るのはどうか。



・どの地区でもシルバークラブなどから協力者はたくさん得られるが、その先の役員のなり手がいない。「役員」=責任が重い、というところからしり込みされる方が多いので、役員は地域住民をつなぐコーディネーターであるという意識を持つといいのではないか。

### ◆ 担い手の確保チーム②



・楽しいことをやるのが大事。お酒の席など楽しいアイデアが生まれる場所を作ることが一番大切。



・組織は縦の線でつながっていることが多いが、高齢化が進み、重い役職を引き受ける人も少なくなっている。そこで発想を縦から横に変え、このくらいなら引き受けますという形で協力を募る。

・組織に関わらず参画しやすいものを作る。子ども会の役員は若い世代。子どもが子ども会を卒業し、役員をおりた後に保護者は家庭防災員になるような仕組みを作

### ◆ 担い手の確保チーム③



- あらためて地域のつながり作りの大切さを実感している。つながりの無い関係の中で担い手を見つけ、バトンタッチしていくことは無理な話なので、まずはつながり作りから。
- どの地域も高齢化は深刻な問題であるにもかかわらず、若い世代の人たちにとっては高齢化が今後重くのしかかってくることを感じていないように思う。一方高齢者はもうすでに子育てに区切りが付き、今の子育て事情が人ごとに感じている。お互い地域の問題を自分事としてとらえる意識を持つべき。
- 役員のなり手がいないということは、その組織そのもの、自治会や地区社協のあり方や意義、仕組みについて根本的に見直すことも必要。

### ◆ 防災・減災チーム



- 小学校の授業参観での防災訓練、いっとき避難場所の周知徹底、サバイバルクッキングの訓練、スタンドパイプ式初期消火器具を使った訓練、市民防災センターの見学、食料のローリングストックなど、広めたいことはまだまだある。
- 安否確認をするために、一覧表を防災訓練でも活用したい。各地域にいる障がい者や高齢者、寝たきりの方などをどう受け入れていくか。今まで見守り活動で得た情報を災害時にも役立てることが出来そう。

### ◆ 内海先生よりコメント

1期から5期の皆さんが集まり、期を超えて大変盛り上がる時間となりました。

地域の見守りをきちんとするためには、民生委員の皆さんにゆだねるのではなく、みんなが出来る時に出来るだけやるというやり方に変えないと、これからの見守りは進まないと思います。

防災について、地域には独自の組織として防災部を設けて取り組んでいるところもあります。昔と違って、仕組みや形だけでなく、いかに友好的、実践的にできるかというところを議論されているようです。また、見守り活動と防災についてはつながりが大変深いので分断せず一緒に考えていくことが大切です。



担い手の問題では、役員の輪番制などが課題となって今年度もマイプランに取り上げている方がたくさんいました。働き盛りの人が地域の活動に参加しやすいように、子どもを巻き込んだり、参加しやすい時間に会議をしたりして、ハードルを下げる工夫を実践的に行われているところもあるとのことでした。アクター（動き手）はその時その時に、体があいている現役世代の人にお願ひし、役員は彼らをコーディネートする役となるとうまくいくこともあります。多世代型のまちづくりのために、そんな風土づくりも有効です。



## 学びのまとめ 集計結果

回収数：37件 回収率：88.1%

満足	やや満足	やや不満	不満
29	8	0	0
78.4%	21.6%	0	0

### 受講生の主な意見

- ◎色々な町会の具体的な取組を聞くことが出来、大変参考になった（多数）
- ◎一歩一歩少しずつでもいいので進んでいけばいいと思う（2）
- ◎自治会町内会の悩みなどが聞けた。
- ◎これからも楽しみにしながら活動していきたいと思った。
- ◎かなり深いディスカッションができ、とても勉強になりました。自分が気づかなかったことが数多く出てきてとてもよかった。
- ◎同じテーブルにならなかった参加者とも話がしてみたかった。
- ◎役員がコーディネーターという話が印象的（多数）
- ◎若手の育成も大事だが、コーディネーター役の人をどう作るかの話が印象的だった。
- ◎担い手について色々な意見をお聞きして良かった。役員は楽しく活動、仲間意識作りが大切。
- ◎役員のみならずの問題にどこでも苦労していることがよく分かった。
- ◎子ども会をうまく活用できないか考えたい。
- ◎自治会への入会の勧め方を考えたい。
- ◎防災パトロールの有効性の話が勉強になった。
- ◎他のグループの発表（見守り支えあい）で自分の担当業務（民生委員のサポート）にも参考になった（職員）。
- ◎自治会活動の担い手などは地域特性があり輪番制で負担を持つ方、活性化する方など、様々な側面がある。  
課題解決するためには関係性やつながりが大事になってくるので、活動の「見える化」に協力したい（CP 職員）。

## 大懇親会（ウィリング横浜にて）

大交流会のあとは、「大懇親会」！懇親会から参加していただいた方も含め総勢 46 名が参加。大変盛り上がりました。

